

有害鳥獣処理施設、候補地再選定

【佐々木委員】設置する候補地が決まらない状況が続いているが、町の単独事業では限界があり、別の手段での整備を検討する必要があるのではないか。

【当局】当初、置賜管内広域でこの話があったが、各市町の温度差が大きく計画が定まらなかった。再度町内に候補地を選定し、丁寧に説明をしながら町単独での設置を模索する必要があると考えている。

緊急銃猟の訓練は

【笹原委員】緊急銃猟実施後、さまざまな不安の声も届いている。緊急銃猟の訓練は行わないのか。

【当局】環境省主催の緊急銃猟に関わる研修会に参加した。現在、改定に取り組んでいる鳥獣出没対応マニュアル

をもとに関係機関と机上訓練などを実施していく。

林道路網整備

【横山委員】路網整備の方針は。

【当局】令和8年度は林道羽黒線の老朽化した橋梁改良のほか、継続して町内全域の林道整備を行う。

森林集約化

【横山委員】森林集約化の状況と今後の取り組みは。

【当局】集約化は関係団体も含め約3500鈔進んでいる。これからも森林の利活用に向けていろいろな取り組みを行っていききたい。

商工費

ウエルネス型観光の推進

【佐々木委員】観光の確立に向けて一歩進んだ取り組みを行うとのことだが、令和8年度は何を行うのか。

【当局】地域の資源をつないだ体験型観光を試験的に行い、必要な人材や運営組織の検証、ターゲットに合わせた情報発信の形を構築するような事業に取り組んでいきたい。

紅花畑の担い手

【竹田委員】日本の紅をつくる町推進事業委託費が増額されたが、どのような内容か。

【当局】中山の大紅花畑の生産を業務委託し、生産量日本一の継続を図るもの。また、シラタカレッドの新商品の取り組みへの環境整備を行うもの。



紅花生産日本一を支える

【竹田委員】業務委託とすることは、紅花畑を継続していく担い手確保の目的が立っているということか。

【当局】中山の大紅花畑の隣で一緒に生産している団体の方々になる。

新産業用地。プロモーション強化事業

【笹原委員】新たな企業の誘致を目指す事業か。また、企業アンケートとはどのような取り組みか。

【当局】新たな立地を目指す企業の確保に向けた事業。アンケートは、町外企業約1万社に向け、新産業団地の資料を添えて事業の周知や意向調査を行うもの。

【丸川委員】他自治体においても産業用地が整備されている中で、本町の売りとするものは何か。

【当局】立地条件の面で差別化を図っていくのは難しいが、立地に向けた支援制度、「職住近接」の取り組み、人材確保育成の支援等に加え、町全体の魅力を伝えて訴求力を高めていきたい。

新産業用地の開始時期

【竹田委員】企業へ働きかけるにも、完成のめどがないと二の足を踏むのではないか。用地整備完成のめどはある程度考えているか。

【当局】大まかなスケジュールとして、令和9年度以降に設計工事に入り、11年から12年頃の分譲開始を目指したいと考えている。